

【ハイチ大地震災害救援事業】

呼吸器外科部長兼国際医療救援部長 中出雅治

2010年1月12日(現地時間)に発生したハイチ地震救援の第2班のチームリーダーとして、2月13日から3月28日までの1ヶ月半にわたり、ハイチ、ポルトープランスに派遣されました。

第2班は、発災直後に入った第1班からポルトープランスのクリニックを継続すると共に、そこから約30km離れたレオガンという町の自衛隊が展開していたクリニックを、自衛隊の撤収後引き継ぎました。また現地での巡回診療、ユニセフとハイチ保健省によるワクチンキャンペーンの主要実行部隊としての活動を行いました。ハイチは地震前から国自体が非常に脆弱な体制であり、発災後1ヶ月経過してもほとんどインフラの復旧がなく、地震による怪我はもちろん、ふだんの病気を診てもらえる医療機関もない状態でした(結局日赤は現地でのクリニックを2010年7月14日まで続けました)。

私自身は現地での種々のアセスメントや、自チームのロジスティクス調整、他国の赤十字社を含めた多くのNGOとの連絡調整業務や会議が主な業務でしたが、チーム全員が事故なく任務を終えて帰国できたことにほっとしています。



クリニックで